

令和3年度 さいたま市立与野東中学校 自己評価書

校長 金子 要一

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 確かな学力の定着と向上に迫る「わかる・楽しい」授業を展開するとともに、個々の学習状況に応じた学習指導法の工夫・改善を図る。
  - ・教育課程の計画的実施の状況
  - ・教職員、生徒、保護者の学校評価
  - ・「よい授業」アンケート
- (2) 「さいたま市 GIGA スクール構想」、「進路指導・キャリア教育」を軸に、「主体的・対話的な深い学び」（アクティブ・ラーニング）を実現するための授業改善と指導力向上を図る。
  - ・「進路指導・キャリア教育」研究発表
  - ・「よい授業」アンケート
- (3) 生徒の豊かな心を育み、一人ひとりを大切にされた積極的な生徒指導、教育相談を組織的に展開する。
  - ・計画的な生徒指導委員会、教育相談委員会の実施による組織的・積極的な情報共有、全体や個々に対する指導
  - ・対応、連携・協力の状況
- (4) 安心・安全で潤いのある教育環境づくりを一層推進する。
  - ・日常の安全点検と保守管理の状況
  - ・環境美化の状況・安全
  - ・健康、食に関する教育の状況
- (5) 学校業務改善及びワーク・ライフ・バランスの充実を図る。
  - ・在校時間の管理
  - ・職員の勤務時間への意識
  - ・校務軽減の工夫

2 評価結果について

- (1) 1月時点の計画で、年間標準授業時数の約95%の授業時数を確保できそうである。学校評価生徒アンケート「授業の内容の理解」で肯定的な意見は、95.1%、同保護者アンケート-お子さんの「授業の内容の理解」で肯定的な意見は、79.3%と微増であった。市学習状況調査（前回調査分）からは、学力は全体的に高い結果になっているが、国語、数学の2教科で正答数が5問以下の生徒が数名おり、個別の取組の工夫が必要である。
- (2) 研究発表会を開催し、本校生徒の実態に応じた研究授業を公開した。また、授業を公開するために、事前に動画で撮った授業を、指導者に見てもらい指導・助言をいただいた。（学校評価教職員アンケート「授業の工夫・改善」については96.7%ができています。）
- (3) 生徒指導に関する情報交換や連携協力93.4%、教育相談に関するスキル向上81%、適切な面談の実施100%であり、全体の評価項目内の数値と比較すると高かった。いじめの把握、心の不安の解消に向けた情報共有、迅速・組織的な対応ができたと考えた。
- (4) 安全点検実施結果を、確実な対応につなげる体制を整備した。積極的な環境美化への取組に肯定的な回答が、生徒96.4%、保護者93.7%であった。人が集まる事や、活動そのものに様々な制限のある中で工夫した取り組みを行い、肯定的な評価を得ることができた。
- (5) 職員の勤務時間を定期的、客観的に把握、集計し、状況に応じて指導・助言を与えた。学校評価（職員の「勤務時間を意識」）では肯定的な意見が67.6%であり、改善が求められる。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・組織的に教育課程の工夫を行い、すべての生徒の資質・能力の育成に向けた指導の工夫・改善を引き続き行っていきたい。また、保護者の関心が高い評価については、その情報（仕組み、評価結果等）をていねいに説明し、信頼性・妥当性について生徒・保護者の理解が得られるように計画、準備をする。
- ・今年度、さいたま市 GIGA スクール構想について、校内の体制を整え運用してきたが、さらに教職員や生徒が使いやすく、効果的な活用を行うための工夫が必要である。
- ・学校における働き方改革の視点から業務改善の方策についての提案を積極的に行い、教職員の意識を高め、また実感できる環境を作る。
- ・来年度から、コミュニティ・スクールの実施校として、地域の方々の協力を得ながら、さらに充実した教育活動の実践ができるようにする。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。